

取扱説明書

ZETA エクスプローラーウインドシールド エクスプローラーハンドル STDタイプ

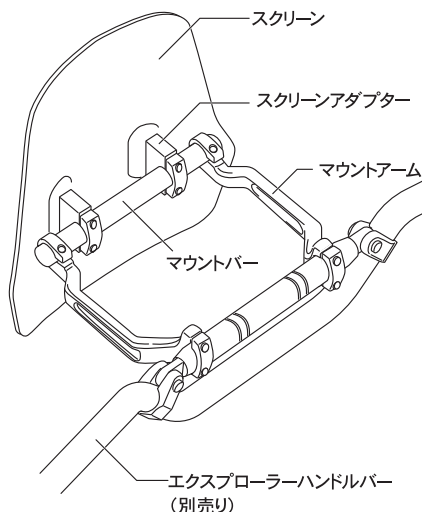
この度はZETA商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

下記の内容をよくご覧になり正しく作業を行ってください。

1.注意事項

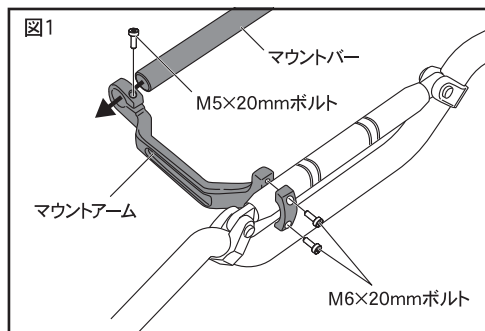
- ・作業には専門の知識と技術が必要です。不用意に作業を行うと思わぬ事故や故障の原因となる場合があります。
- ・製品に対し、加工・改造を行わないでください。事故や破損の原因になります。
- ・既に車両に装着されている純正部品以外の製品、部品等によって本製品と干渉し使用できない場合があります。
- ・定期的にボルトの緩みを確認して下さい。
※振動や衝撃により、取付けが緩くなる場合があります。
- ・取付けはタンク、メーター、ヘッドライト周辺での作業です。工具や部品が落下して傷を付けないよう保護して作業を行ってください。

2.各部名称



2.取付け方法

- 1) ワイヤ類の干渉、メーターの視認性、キーンダーの位置を考慮してハンドルブレースに仮組みし、マウントバーを取付けます(図1)。

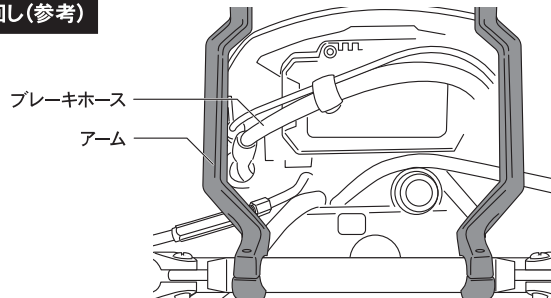


メーター上にブレーキホースがある車両の取り回し(参考)

サスペンションのストロークにより、ブレーキホースは上下に大きく動きます。サスペンションがストロークした場合でも、ホースが引っかかりたり、負荷を与えてしまわないように十分に考慮してアダプターの位置を決めてください。

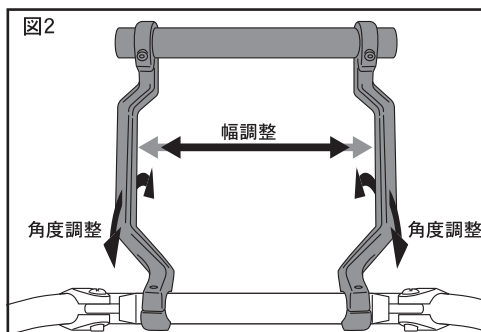
※接触程度は問題ありません。

※車両によりブレーキホースの位置は異なります。

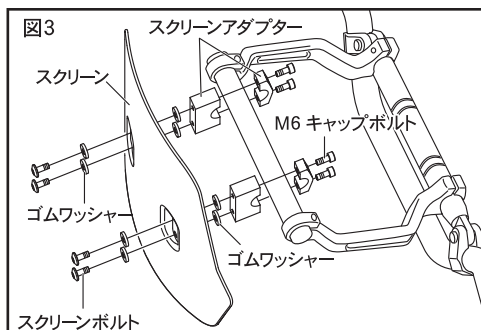


- 2) ワイヤー類の干渉が無いように、アームの角度と幅を決めます。まず左右のアームが同じ角度、同じ取付け位置になるよう仮固定し、その後マウントバーが回転しないように本締めしてください(図2)。

※メーターの視認性が悪くなる取付はお控えください。



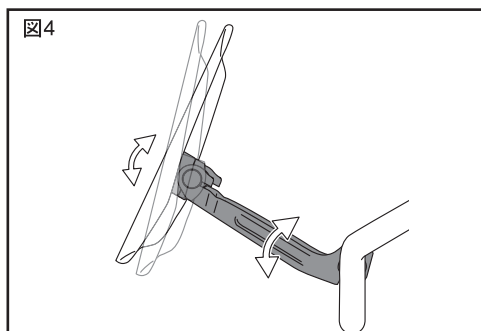
- 3) スクリーンアダプターとスクリーンを取付けます(図3)。



- 4) マウントアームとスクリーンの角度を好みの位置に微調整し本締めしてください(図4)。締め忘れが無い確認し、スクリーンとマウントアームが容易に動かないか確認してください。

※スクリーンが傾いて取付いている場合、マウントアームの角度が左右同じか、アームアダプターの取付け位置が左右同じか確認してください。

※アームアダプターが動いていないか確認してください。



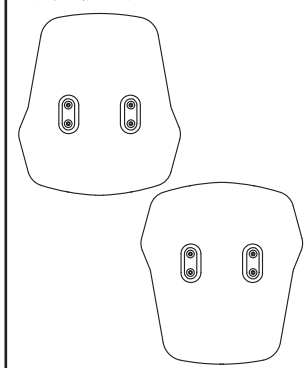
- 5) ハンドルをゆっくりと左右に切り、スロットルがスムーズに回転するか確認し、各ワイヤー、ホース類に負荷を与えてハンドル操作に支障がないか確認します。

- 6) スクリーンを取付けるとハンドル操作フィーリングが変化します、必ず試走行をし、視界を確認及び各部のガツキ、ボルトの締め忘れ等が無いか確認してください。

3.スクリーンの仕様

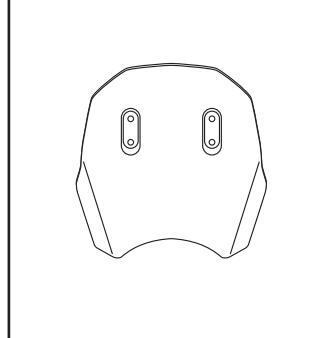
スタンダードタイプ

お好みに応じて上下反転してご利用可能です。



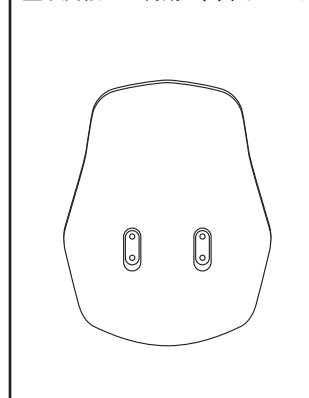
ショートタイプ

上下反転のご利用は出来ません。ヘッドライトの形状に合わせ下部がデザインされています。



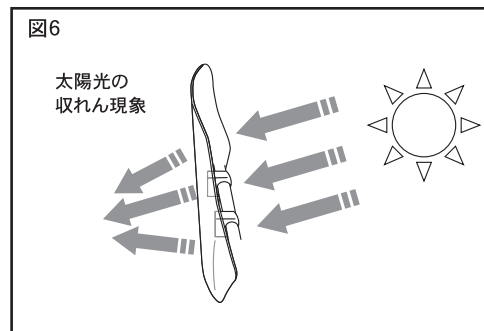
オプション：ラージタイプ

上下反転のご利用は出来ません。



4.特記注意事項

スクリーン装着後、車体後方よりスクリーン部の内側に太陽光が直接あたる状態での駐停車は厳禁です。太陽光の収れん現象(図6)により発生した不具合や事故損害につきましてはいかなる場合でも当社では一切責任を負いません。



5.メンテナンス

- ・スクリーンを洗浄する時は、表面を傷付けないように、水又は、ぬるま湯をかけながら、柔らかい布又はスポンジで拭いてください。
- ・破損や傷、劣化により視認性が悪くなった場合、速やかに交換してください。

リプレースメントスクリーン	
スタンダードタイプ	ZE70-1900
ショートタイプ	ZE70-5900
ラージタイプ	ZE70-1901

6.マウントバー

- ・スマートフォンホルダー、ナビホルダー等を取付ける場合、ブレーキホースの動きに干渉しない位置に取付けてください。
※ブレーキホースの干渉より、機器を中央に取付けられない車両があります。
- ・マウントバーに機器を装着した場合、配線処理に付属のリリースタイラップ(2本付属)を利用してください。

株式会社 **ダートフリーク**

〒489-0005 愛知県瀬戸市中水野町2-30